

# めぐみ厚生センター センターだより

第 357 号  
発行 2017年 1月15日

佐賀市緑小路1-3  
社会福祉法人めぐみ厚生センター  
めぐみ園 0952(34)7722  
どりいむ 0952(34)7727  
E-mail s-megumi@basil.ocn.ne.jp  
富士学園 0952(63)0107  
ウイズ富士 0952(51)0063  
ピースハイム 0952(64)2012  
E-mail fuji-g@b2.bunbun.ne.jp

発行者 栗林 恵一  
印刷所 (株)古川総合印刷

ホームページURL <http://www.megumikousei-center.org/>

明けましておめでとうござい  
ます。皆様方の絶大なるご支援  
をいただき、当法人も新たな年  
を迎えることが出来ました。衷  
心より厚く御礼申し上げます。  
さて、昨年を振り返ってみま  
すといろいろなことが起こりま  
した。特に熊本の大地震は、二  
〇一一年に発生した東日本沖の  
地震・津波による大災害を思い  
起こさせる様な恐怖を覚えまし  
た。神様がおつくりになったこの  
自然の力に対して私たち人間が  
全く無力であることを改めて痛  
感させられました。また、一方  
で相模原の障害者施設で起こつ  
た利用者殺傷事件など人間社会  
が作り出した病んだ心による事  
件も多く起こっています。  
そのような中で、福祉の制度  
も種々改定され、暗中模索の状



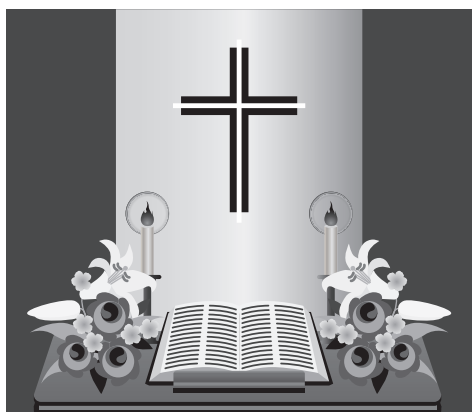
## 困難な時の流れの中で

社会福祉法人めぐみ厚生センター

理事長 栗林 恵一



態といえます。特に本年四月か  
らは法人の運営体制が大きく変  
わります。それにどのような対  
応していかねばならないのか苦  
慮しているのも現実です。  
しかしながら制度が変わって  
も利用者の方々への支援の心は  
変わりません。当法人はキリス  
ト教の「隣人を愛する」という  
愛の精神を基本理念としていま  
す。これは今後も変わりません。  
当法人を精神的にサポートして  
くださっている日本キリスト教  
会佐賀めぐみ教会は現在牧師不  
在ですが、久留米教会の枝松博  
展牧師に応援教師としてご尽力  
いただいております。めぐみ園、  
富士学園両園においてもそれぞ  
れ月一回ずつ礼拝をささげ、説  
教奉仕いただき神さまの恵みを  
伝え導いてくださっています。



誠に感謝です。礼拝は神様との  
交わりの時です。その神様との  
交わりの時を通して、利用者の  
方々が、あるいは職員の方々が  
神さまからの恵みをよりいっそ  
う感じ取り、心豊かに喜びをもつ  
て「共に生きる」ということを  
実践していければと思います。  
わたくしは法人内が笑顔であ  
ふれますようにいつも願って  
います。そのためには役員・職  
員また利用者の方々、その御家  
族の方々が信頼し合い、一丸と  
なつてこの困難時代に善処して  
行かねばなりません。どうか皆  
さま、本年もご協力のほど何卒  
よろしくお願い申し上げます。

# 追悼



## 「諫山真司さんを偲んで」

栗林 恵一

二〇一六年十二月十二日、諫山真司さんの訃報を知らされ、驚きました。数日前までお仕事されていた様子で、最後の最後まで自分の務めをやり通される諫山さんらしいお姿だなと思えました。

私が諫山さんと初めてお会いしたのは私が幼稚園くらいで諫山さんが大学生の頃だったと思います。当時のエピソードで記憶に残っているのがジュースの冠開けです。諫山さんは体格がよく、「俺は相撲部だった。体力・腕力には自信がある。」と言って瓶ジュースの冠を歯に挟んでがぶりと冠を開けておられました。後年、私は歯科大学で学んでいた頃、講義の中で教授が「冠を歯で開けるヤツがいるが、歯に大変悪い影響を与えるので絶対にしてはいけない」と話され、直ぐに諫山さんのことを思い出しました。晩年、諫山さんは少し歯茎が弱って私の歯科医院に来院され「昔あんな事しなきゃよかった。」と悔やんでおられました。

また、諫山さんといえば麻雀です。忙しい諫山さんにとって麻雀は唯一の息抜きだったようで、非常に楽しんでおられました。そして絶対に自分から

止めようと言われたことはありませんでした。いつも「もう半チャン、もう半チャン」と言って、土曜日の午後一時くらいから始めた麻雀が徹マン朝帰りということは初中後（しよつちゅう）でした。またそのときの夜食は諫山さんが茹でたソーメンかうどんが定番で、これまた諫山さんが漬けた漬け物と一緒に食べるのは絶品でした。諫山さんもそれを自負しておられ、「茹でモノも漬けモノもタイミングが大事」と言っていて楽しそうにしておられたのを覚えています。

諫山さんは一九六五（昭和四十）年四月めぐみ園に指導員として拝命され、その後めぐみ園副園長、富士学園園長、めぐみ厚生センター常務理事として二〇〇八（平成二十）年十一月までの四十三年間もの長きにわたりこの法人を支えていただきました。その間様々な困難な事も多々ありましたが、諫山さんのご尽力によりその一つ一つを乗り越えていくことが出来ました。諫山さんが居なかつたらめぐみ厚生センターの今は無かつたと言っても過言ではありません。生前の諫山さんのお働きに心から感謝し、ご冥福をお祈りいたします。



# めぐみ園

## クリスマス祝会



毎年十二月二十六日に、めぐみ園ではイエス様のご降誕をお祝いします。第一部では、礼拝の時を持ち、枝松牧師のお話を聴き、皆で賛美しました。二部では、ブラックライトシアターを使ってのお話し（天使たちからの贈り物）や今までの思い出をスライドで観賞しました。

ご家族やいつもお世話になっているボランティアを含め、多くの方々と共にイエス様のご生誕をお祝いする良き日になりました。  
（光の子）



## プレゼント交換会



十二月二十三日、プレゼント交換会が行われ、それぞれ持ち寄ったプレゼントをサンタさんが利用者一人ひとりに手渡ししました。  
（新妻）



## 共同募金より

NHK歳末たすあい義援金で、めぐみ園ではテレビを二台、どりいむではDVDプレーヤーを二台購入しました。好きな番組を見る機会が増え、利用者の方はとても喜ばれています。ありがとうございます（ソックス）



# めぐみ園

## 還暦のお祝い

今年度は、十名の方が還暦を迎えられます。十一月二日には、厨房職員手作りの美味しい、心のこもったお弁当を皆で戴きお祝いしました。

(健やか)



11月5日 原田秋江様



11月7日 太田五子様



12月1日 白濱拓美様

## バス旅行

紅葉の中を散策後、武雄温泉でゆったりとお湯に浸かり、気分最高！料理も美味しかったです！

十一月十五日の日帰り旅行、帰りに物産館に寄って買物、お土産いっぱい持ち帰りました。

(旅好)



# 富士学園・ウイズ富士

## クリスマス Christmas キリスト・マサ 救い主 礼拝

十二月二十四日 ご家族、ボランティア、めぐみ園の皆様を招いて、キリストの降誕(生誕)を祝いました。

最初に、枝松博

展牧師によりますクリスマス礼拝が執り行われ、川崎施設長の聖書の朗読の後、「羊飼いの礼拝」の説教を拝聴しました。

オルガンの厳かな音に合わせて、参加者全員で「きよしこの夜」「もろびとこぞりて」などの賛美歌が、ふれあい館に祈りとなり響いていました。

(イチロー)

## Merry Christmas



## クリスマス交流会

十二月十六日(金)に富士小学校三・四年生二十七名と、何時もお世話になっているボランティアの方とのクリスマス交流会がありました。

(山)



# ウイズハイム

## 新築工事定礎式

十二月二十四日(土) 枝松博展牧師の司式で、ウイズ富士・ピースハイム新築移転工事の定礎式が行われました。今年の六月末に出来上がる予定です。

(山)



# ピースハイム

## 地域との交流

### ◇佐賀熱気球世界選手権にて



恵比寿顔で～す

十月二十六日～十一月六日まで開催された熱気球大会会場で、峰栄二様が毎週末に行かれている『恵比寿ステーション』のボランティアの一環で、ステッカー等の販売のお手伝いをされました。

### ◇無病息災

十一月三日、ピースハイム金立で金立権現神社の『天衝舞鉦浮立』として町内の家々を廻って豊作や無病息災を祈るお祭りが行われました。地域の行事に一年の無事を祈りました。

(K&K)



# ふれあい

## 故 松本多美子様お別れ会

(めぐみ園)



やかに執り行われました。

とても踊りが上手で、めぐみ園ソールン隊【利用者有志のメンバー】のチーフ的存在でした。

安らかに憩われますよう、心よりお祈り致します。(利用者・職員一同)

# 豚汁会 (めぐみ園)



十一月二十  
二日昼食に具  
沢山の美味し  
い豚汁を!  
皆さん顔が  
ほころんでい  
ました。  
(お替り)

## 聖句

「いと高きところには栄光、神に  
あれ、地には平和、御心に  
適う人にあれ。」

(ルカによる福音書 第二十四章十四節)

## 職員研修所セミナー

十一月二十九日(火) 第二回職員研修所セミナーが富士学園で開催され、講師として小柳記念病院外科医師の牧孝将様を迎えて「在宅や施設で行う湿潤療法」について講演をして頂きました。



施設内においても転倒による怪我が増加傾向にあり、怪我した際に傷口を消毒液で滅菌対処するイメージをお持ちの方も多いため、正しくは流水を用いしっかりと傷口の異物を洗い流すことが最も重要で、消毒で人体細胞は死に、細菌は生き残り傷口を消毒すればするほど傷は深くなりダメージを与えるとのことでした。  
傷口を早く完治させるには「傷は乾燥させない」「傷は消毒しない」という『湿潤療法』を紹介されました。スクリーンに映る患部の実例写真と牧先生の説明を受け、有意義な研修でした。  
(タっちちゃん)

## 皆様ありがとうございました

(十一月・十二月分)

### ◎法人へ

- 富樫史朗牧師より 寄付
- 佐賀めぐみ教会様より 寄付
- 志免教会様より 寄付
- NHK歳末たすけあい義援金を 寄付
- 佐賀県共同募金会を通して 寄付

### ◎めぐみ園へ

- 松本幸子様より 寄付
- 溝田法子先生他一同様より 寄付
- 山内貞男様よりみかん 多数寄贈
- 宮崎鮮魚様より シュークリーム多量寄付
- 山代ガス様より 寄付
- 多布施理容様より 寄付
- 山口勝正様より 寄付
- 株式会社イムコ様より 寄付
- 堤 宏隆様より 寄付
- 堀青果店様より 寄付
- 市丸俊文様より 寄付
- クリスマス祝会へ 寄付
- 来賓・ご家族の皆様より 寄付

### ◎富士学園へ

- クリスマス祝会へ 寄付
- 来賓・ご家族の皆様より 寄付



## 何でもコーナー

### スーパームーン

昨年十一月のスーパームーンは、ご覧になりましたでしょうか?

北部九州は生憎の天気で見ることが叶いませんでしたが、今回のスーパームーンは普段の満月より十四%大きく見え、明るさは三十%も高まったそうです。さて今回の満月が特別だった理由ですが、月は地球の周りを楕円状に回っていますが、十一月のスーパームーンは地球の一番近い所を周回し、且つ太陽と地球と月が一直線上に並んだ状態となったのです。

前回この条件となったのが、一九四八年以来六十八年ぶりだったので、特別なスーパームーンだったので今回のこの条件下のスーパームーンは何時かと言うと、二〇三四年まで現れませんでたいぶ待つこととなります。どうか、次回のスーパームーンは天気がよいことをお祈りしましょう。

(リトルノア)

## あ と が き

### 新年明けまして

おめでとうございます  
皆様が健康で楽しく一年を  
過ごされますように、お祈り  
申し上げます。

(飛翔)

